

～海とロマンのまち伊予市をPR～

## 五色姫復活祭

3月22日、『第21回五色姫復活祭』が行われました。

オープニングセレモニーでは、鮮やかな着物に身を包んだ五色姫と稚児にそれぞれ認定証が授与され、五色姫を代表して、佐伯梓さんが「今年一年伊予市の顔として、いろいろなイベントに参加し、海とロマンのまち伊予市をPRしたい」とあいさつをしました。

その後、ダンスグループによる踊りの披露や女性みこしのかきくらべが行われ、女性一色の華やかなお祭りとなりました。



中宇柁希美さん 藤田美樹さん 佐伯梓さん 山本梨津子さん 矢野佳奈美さん



～宮下地区を安全・安心な地域に！～

## 宮下自主防災会、講習会を開催

3月12日、宮下自主防災会が地元集会所で『防災講習会』を行いました。

講習会に参加した地区住民約80人は、AED(自動体外式除細動器)の使い方や心肺蘇生の方法、また住宅用火災警報器の設置について、伊予消防署員の説明を熱心に聞き入っていました。



～伊予サッカースクール～

## 四国フットサルリーグ大会優勝

2月22日、香川県丸亀市で開催された「第11回四国フットサル大会」において、伊予サッカースクールが見事、優勝しました。

選手たちは、サッカー技術の向上のために年間を通じて週2回フットサルの練習を続け、優勝の栄冠を手に入れました。伊予SSは、入部希望者大歓迎です。



～特用林産科園芸班が育てた花をご近所に～

## 中山高校、花を無料配布

3月16日、中山高校周辺で中山高校生による『花の無料配布』が行われました。中山高校生17人は、特用林産科園芸班の生徒が育てたサイネリア、ピオラ約200鉢を学校周辺の家々に配布しました。受け取った方は、「毎年楽しみにしている。今年もこんなにきれいな花をありがとう。」と感謝の気持ちを生徒たちに伝えていました。



～松山中央高校ホッケー部(伊予市出身生徒)～

## 全国高校選抜大会出場激励会

3月16日、全国高等学校選抜ホッケー大会(女子ホッケー)に出場する伊予市出身選手の激励会が行われました。松山中央高女子ホッケー部は、1月に行われた四国ブロック予選を勝ち抜き、3月下旬に開催される全国大会の切符を手に入れました。【伊予市出身選手:長岡さん2年/GK、白澤さん2年/MF、山田さん1年/FW】



### ～伊予市の特産品を多くの方にアピール～ アンテナショップを松山に開設

4月1日、ジョー・プラ(松山市朝生田)で『伊予市アンテナショップオープニングセレモニー』が行われました。

市がおこなうまちづくり「伊豫国あじの郷づくり」の一環としてオープンしたもので、栗の里なかやまが中心となって出店し、タケノコや山菜、加工品など、旬の食材を買い求める多くのお客さんと賑わいました。



### ～毎日笑顔でまあるい心-こころの健康づくりのために～ いよし健康づくりの会

3月19日、伊予市保健センターで『いよし健康づくりの会』総会が行われました。この会は、「みんなで作る健康のまち」を目指し、平成19年4月に設立。市民一人ひとりが健康づくりに取り組み、活動しています。

総会後には、松山保健所の松下久美子係長による「毎日笑顔でまあるい心」と題した講演が行われました。



### ～平成20年度土砂災害防止ポスターコンクール～ 港南中から2人が受賞

国土交通省が主催する平成20年度土砂災害防止に関するコンクール(ポスター部門)で、港南中学校の2人の生徒が入賞し、表彰されました。

◎県知事賞・国土交通省砂防部長賞(左上)

灘岡未来さん(港南中1年)

◎県砂防協会会長賞(右上) 新田明人さん(港南中2年)



### ～伊予の町並みや伊予灘が一望できる展望台のもとで～ 谷上山さくらまつり

4月5日、市内でも有数のお花見スポットである谷上山で『さくらまつり』が開催されました。

約800本の桜が満開となり、見ごろを迎えた会場では、餅まきや大谷龍神おどり、太鼓演奏などさまざまな催しが行われ、多くの家族連れなどが訪れました。



### ～伊予市恒例の春のイベント～ いよし花まつり

4月11・12日の2日間、市民体育館で『いよし花まつり』が開催されました。この花まつりは今年で26回目となり、伊予市の春の恒例イベントとなっています。

色鮮やかな草花で埋め尽くされた会場では、生け花の展示や各団体によるバザー、押し花やガーデニングの体験教室などが行われました。



### ～ゆずりあう 愛ある伊予路に 咲く笑顔～ 五色姫交通安全街頭キャンペーン

4月6日、伊予警察署前の国道で『春の交通安全街頭キャンペーン』が行われました。

1日警察官に委嘱された五色姫が、交通安全協会員や2匹の警察犬らとともに沿道に立ち、ドライバーに交通安全に関するリーフレットやポケットティッシュなどを手渡し、安全運転を呼び掛けました。